



とうほうの風

～ やさしい心 丈夫なからだ みんな仲よく ひとりだち ～

令和7年(2025年) 4月5日 発行

東邦幼稚園【教育目標】

「やさしい心 丈夫なからだ みんな仲よく ひとりだち」

～ご入園 おめでとうございます～

【園長：田川隆司】

キラキラとした春の輝きを含んだ陽射しの中、東邦幼稚園の桜も満開になり、令和7年度(2025年度)の新学期がスタートしました。

年少(赤ばら・黄ばら)組のみなさん、
そして、年中(きく)組と、年長(たけ)組へ入園のみなさん、ご入園おめでとうございます。
ようこそ、東邦幼稚園へ！



東邦幼稚園では、創立当初より「のびのびと、幼児一人ひとりの個性を伸ばしたい」という建学の精神を現在に引き継ぎ、「一人ひとりが自ら活動し、恵まれた環境を通じて感性豊かな子ども、心身ともに元気で、生きる力を持つ子どもになって欲しい」というねらいのもと、年齢や発達に応じて遊びの中で楽しく無理なく可能性を引き出すため、「やさしい心 丈夫なからだ みんな仲よく ひとりだち」を教育目標にしています。

さて、本日、入園された子どもたちにとって幼稚園での生活は、家族ではない人たちと新しく「出会い」、そして少しずつ「学び」を始めていくことになります。幼稚園という「集団活動」の場で一番大切なことは、人ととの「出会い」にあります。その中で少しずつ滑らかで豊かな人間関係をつくっていく子どもたちには、まず「笑顔」と元気な「あいさつ」が大切だと考えています。

東邦幼稚園の仲間になったみなさん(親子とも)は、それぞれ「笑顔とあいさつ」を大切にする気持ちをもって毎日をすごしてください。

保護者としても、「きっと誰とでも気持ちよく『あいさつ』ができる子になって欲しい」と願うはずですね。しかし、誰もがみな同じように笑顔で元気のいい「あいさつ」ができるわけではありません。きょとんとしてしまう子、目をぱちくりしてしまう子、一人ひとりの育ちは異なって当然。そんな時には、まず身近な大人である保護者が、いつでも誰とでも気持ちのよい「あいさつ」することを心がけてください。子どもたちはきっとその大人の姿を見て聞いていますから…。

すぐに訪れる小学1年生、そして、中学校や高校、さらに専門学校や大学などを経て社会人1年生でも、必ず言われることですが、「あいさつ」は人間関係をスムーズに進めてほしいという子に対する親の願いでもあります。そんな時は、大人が「あいさつ」を基本として真剣に生きている姿勢を見せてることで、子どもたちは吸収し身につけていくのだと思います。



保護者（親）はどんなに自分の年齢を重ねていても、親になった年齢はお子さんと同じです。朝は早起きをしよう、前の日や家を出る前に忘れ物がないか確かめようなど、こうした方がいいなあと気づいたことがあれば、まずは、お子さんと一緒に始めてみてください。子育てに今からでは遅いということは、一つもありません。



このように、毎年子どもたちは、幼稚園に集う仲間とともに様々な経験を重ね、保護者のみなさん気がつかないところで少しずつ確実に成長していきます。同時に、これからの中学校に向けて保護者のみなさんにも子育てにおける「親育ち」という経験が必要という点もぜひ心に留めておいていただければありがとうございます。

保護者のみなさんも今日から幼稚園生活が始まります。お子さんと一緒に見るもの、聞くもの、そして、日々、心を動かす中で、「子育ては大変だなあ～」から「子育てはなんて楽しいんだ！」が沢山見つかるはずです。その「子育ては楽しい！」を見つけるお手伝いを我々東邦幼稚園の職員たちがいたします。

最後になりましたが、私が公立中学校新任教師の頃から節目に必ず発しているメッセージのひとつに「春を感じ、夏を走り、秋に想い、冬に夢見る、そんな“感性”豊かな人になってほしい」という言葉があります。過去数十年にわたり、送り出した数多くの卒業生にもこのメッセージを託してきました。この東邦幼稚園の子どもたちはもちろんのこと、保護者のみなさんにも、そんな“感性”豊かな一年を過ごしてほしいと願っております。豊かな“感性”は、必ず、豊かな“心”から生まれます。

東邦幼稚園では、笑顔あふれる豊かな“心”を持った先生たちが毎日みなさんをお迎えし、職員一同誠意をもって幼児教育に取り組んでまいりますので、保護者の皆様も、豊かな“心”で送り出し、そして、お迎えをしてあげてください。 どうぞよろしくお願ひいたします。

